

平和憲法を生かして
平和・いのち・暮らしをまもる
要請書

「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」。(憲法前文からの抜粋)

日本国憲法は、多くの犠牲者を出した、アジア・太平洋戦争を反省し、二度とこうした事態を招くまいとした日本国民の決意を全世界の人々に表明しています。しかし現在、日本政府は、弱者を切り捨て、水面下で自衛隊の海外派兵や憲法改悪の動きを推し進めています。平和憲法を守り生かすために活動している私たちは、経済格差が大きくなり、日々の暮らしに逼迫する人々が増加する今、平和憲法に基づき、人々の生命を守り、暮らしを尊重する政治を求め、以下のことを要望します。

1. 海上自衛艦のソマリア沖への派遣に強く反対します。また、自衛隊海外派兵恒久法、それに繋がるおそれのあるソマリア沖への自衛隊派兵に関する新法(海賊対策新法)を制定しないでください。
2. 憲法改悪を進める憲法審査会を始動させないでください。
3. 雇用の安定を図り、医療や福祉をはじめとしたセーフティネットを充実させ、生存権を守る政治を要望します。

2009年2月20日

「平和憲法を生かして
平和・いのち・暮らしをまもる
2・20女性たちの院内集会&ロビイング」参加者一同

呼びかけ団体: NCC(日本キリスト教協議会)女性委員会
「憲法」を愛する女性ネット
新日本婦人の会
全労連女性部
男女平等をすすめる教育全国ネットワーク
日本キリスト教婦人矯風会
日本婦人団体連合会
日本YWCA
VAWW - NETジャパン
ふえみん婦人民主クラブ